

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画
令和6年度事業点検・評価調書

4- I -8

4- I -8

章 第4章 世界遺産登録に向けた来訪者の受入体制整備		取組項目	佐渡航路のピーク時を想定した対応の検討
節 I. アクセスルートの整備・来訪者の誘導等		事業主体	佐渡汽船(株)
事業(施策)名	8 ピーク時海上輸送体制構築	関連団体	県交通政策課、佐渡市交通政策課、佐渡市観光振興課
事業実施期間	H28～R6		
事業概要	【事業目的】 ○ 佐渡航路のピーク時を考慮した海上輸送体制を構築し、来訪者が急増した際に対応する。 【事業内容】 ○ 輸送実績や輸送トレンド、観光客の需要予測などを踏まえダイヤを設定し、予約の急激な増加については、増便等により海上輸送体制の確保を図る。 【本計画終了時点のゴール】 ○ ジェットフォイル及び車両航送を中心に、予約制導入の周知による当日新規利用者への混乱と混雑回避、また、スムーズな手続きと乗船 ○ ジェットフォイルの予約状況を考慮し、定期便に加えて臨時便を設定		
これまでの取組実績	【R4年度実績】 ● 予約制周知においては、ホームページ掲載により継続的に周知を実施している。 ● コロナ禍の影響もあり、当年度の注意喚起は適宜実施した。 【R5年度実績】 ● 2023年4月-11月現在でジェットフォイルを196便臨時運航し、輸送需要増に対する輸送体制を確 ● 2023年4月より、佐渡汽船主催の個人型旅行商品を原則WEB販売とすることで、乗船窓口での手続き行程を短縮し、スムーズな乗船に寄与した。		
事業計画と実績	【R6年度計画】 ● 輸送需要に応じ、ジェットフォイルの臨時便を設定することでピーク時増便による海上輸送体制を確保する。 ● 来訪者が急増することを想定し乗船手続きの簡素化、デジタルチケット発券の利用者割合を増加させることで、当日乗船時の混乱回避、スムーズな乗船を実現する。 【R6年度実績】 ● 2024年5月にジェットフォイル6便を臨時運航し、輸送需要増時の海上輸送体制を確保した。 ● より簡易的なデジタルチケット発券のためのシステム改修を実施中。		
事業評価	【ゴールに対する計画終了時の達成度】 [A ・ B ・ C] ◇ 上記の通り、輸送需要増時に臨時便運航体制を確保しており、輸送需要を満たしていると考えて		
課題	■ より簡易的なデジタルチケット発券に関するシステム改修は引き続き実施中。		

A: 予定を上回る進捗
B: 概ね予定どおり
C: 遅れている。